

きなんせとっとい通信

TOTTORI

令和7年10月号
鳥取労働局総務課
人事係

障がい者合同面接会実施

内定式開催！
インターンシップ実施

Topics

内定式開催

鳥取労働局ってどんなところ？—ハローワーク職業安定部編

インターンシップ開催

今号のニュース

10
Oct.

写真) 鳴り石の浜 (琴浦町)

厚生労働省

鳥取労働局

▶内定式開催！

令和7年10月1日に令和8年度新規採用予定職員の内定式を開催しました。鳥取労働局長からの祝辞のあと、新規採用職員の皆さんが決意表明をされ、とても印象的でした。

懇親会を兼ねた昼食会でも、皆さんの笑顔がたくさん見れてホッとしました。これからも採用区分に関係なく、同期の皆さんで支え合う関係性になってもらえたらとっても嬉しいです！そして、来年の4月1日に再度会えることを楽しみにしています。



写真：内定者に祝辞を述べる山下鳥取労働局長

▶鳥取労働局ってどんなところ？－ハローワーク・職業安定部編

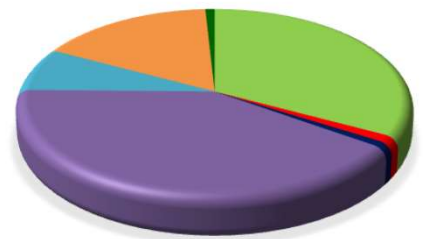
ハローワークと職業安定部は人材確保と多様な人材の活躍を支援

- ・鳥取労働局では、4所のハローワーク（※）を運営しています。
※ 鳥取所、倉吉所、米子所、根雨出張所
- ・ハローワークは、職業紹介、雇用対策、雇用保険を一体的に運営して雇用のセーフティネットとしての役割を果たしています。

1.鳥取県 全体の3割強の就職をハローワークが支援

ハローワークの紹介による年間の就職件数は9,138件（令和6年）
県内就職の33%がハローワークの支援によるもので、県内企業の人材確保を支援しています。

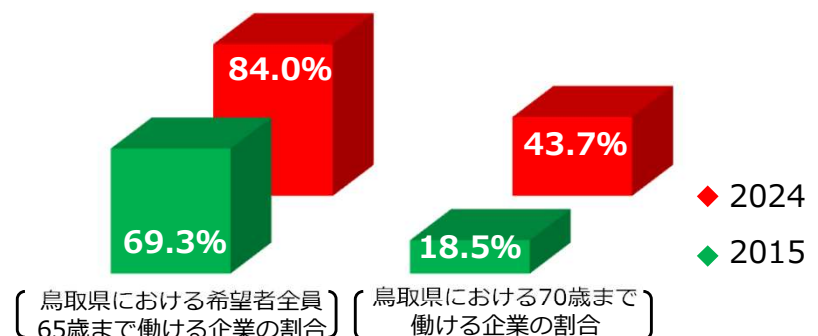
◆ ハローワーク	33%
◆ 民間の職業紹介所	1%
◆ 学校	1%
◆ 広告	41%
◆ その他	7%
◆ 縁故	16%
◆ 出向	1%



2024年「雇用動向調査」より

2.鳥取県において高齢者が活躍できる企業が増えています

ハローワークが、高齢・障害・求職者雇用支援機構と連携し、企業の高齢者が働きやすい環境整備や処遇改善を支援。定年の廃止・引上げや継続雇用制度の導入により、鳥取県内の希望者全員が65歳まで働ける企業の割合、70歳まで働ける企業の割合がそれぞれアップしています。



3.自治体と連携し、鳥取県内の地域ごとの課題に応じた支援を行います

- ・市や町による移住や生活困窮に伴う生活支援とハローワークの就職支援をワンストップで提供（鳥取市、境港市、琴浦町）
- ・企業誘致など産業政策による雇用創出に対するハローワークの人材確保支援（鳥取県、鳥取市、境港市、琴浦町）
- ・鳥取県立ハローワークへの職業紹介技法の技術支援（鳥取県）



▶ インターンシップを実施！

鳥取労働局では、毎年夏休み期間に、**インターンシップ**を行っています。今年は、6名の学生さんにお越しいただきました！そして、本記事については学生さんに作成していただいています！当局の様々な業務について紹介してくださっていますので、ぜひご覧ください！

▶ 監督官の業務を体験

ポリテクセンターにて労働基準監督官の業務を体験させていただきました！労働基準監督官として現場に行く際にどのような持ち物・装備で行くのか、どのような基準で監督に赴いているのか等学ぶことができました。実際に職業訓練で使われている機械や場所を見学させていただき、監督官の方から指導ポイントを細かく教えていただきました。

労働基準監督官として働くには**機械系や建築系など他分野にまたがった知識が必要である**ことを実感しました。



たしかめたん

▶ 監督署を見学！

労働基準監督署にてセミナー見学、業務体験をさせていただきました。監督署では労災補償業務についてご説明をいただき、セミナーも見学させていただきました幅広く労働者の権利を守るために活動されていることを知りました。また、事故現場に赴いて検証するときに使う機器を実際に使わせていただき、事務的な仕事から実際に現場に赴いて行う業務まで幅広く対応されている部署であると感じました。

▶ ハローワークの業務を体験！

ハローワーク鳥取において、職業紹介業務・専門相談部門業務・求人部門業務の3つの業務体験と、先輩職員と今後のハローワークについて話し合うハローワーク研究会に参加しました。

求職者の方への窓口案内や求人票の作成の際に気を付けることについて学びました。求職者の方にとって利用しやすい施設かつサービスに満足していただくために、利用者の情報を取り扱う際に間違いがないように気を付けられていたり、求人票の情報に法令違反がないか確認されるなど、細かいところまで気を配られていることが印象的でした。また、**学生でもハローワークで面接練習等の就職支援を受けられる**ことを初めて知り、もっとハローワークについて知りたいと思いました。

ハローワークで働かれている職員の方との研究会では、職員の方々がハローワークを多くの人に利用してもらうために「**学習する集団**」というスローガンのもと**日々向上心を持って業務に従事**されているのだと感じました。



ハロトレくん

▶ PR動画を作成！

職業安定部において、鳥取労働局での取組のPR動画案を作成しました！現在、鳥取労働局で行われている取組みについて学び、より労働局の取組みに注目してもらうためにどのようなPR動画があればよいのかを既存のPR動画をもとに学生ならではの視点で検討し、最終的に職業安定部長の前で案を発表させていただきました。

鳥取労働局内でも学生や求職者に対して企業説明会などの就職に関するイベントを開催していることを初めて知り、驚きました。私自身も就活生であるため、参加してみたいととうようなイベントが多かったです。部長をはじめとする職員の方が優しく親しみやすい人柄で、**温かい職場**である印象を持ちました。

▶ 障がい者面接会が開催されました

担当部署：職業安定部職業対策課

9月30日に鳥取市民体育館において、ハローワーク鳥取が障がいのある求職者と企業を対象とした就職面接会を開催しました。今回はその様子と、鳥取労働局における障がいのある方への就職支援について紹介させていただきます。

鳥取労働局では、今年度の最重点施策として「①多様な人材の活躍と人材確保支援」「②誰もが働きやすい職場づくり」を掲げていて、特に障がいのある方への就職支援には力を入れています。

令和6年度の鳥取、倉吉、米子所、根雨出張所の4所の支援による障がいのある方の就職率は60.3%で全国平均の43.1%を大きく上回り、なんと6年連続で全国1位！になっています。地方公共団体や就労支援機関とも連携し、鳥取労働局の4所による就職から定着に向けたきめ細やかなチーム支援に取り組んだことで高い就職率になっていると考えています。

さて、今回の面接会ですが、鳥取県東部の企業57社、障がいのある求職者の方108名に参加いただきました。ただ、障がいのある方の雇用慣れしている企業もあれば、まだ障がいのある方の雇用経験がなく、採用意欲はあるものの実際の雇用に踏み出せない場合など、企業によって状況は様々です。このため、今回は面接会場のブースを分けて、採用面接を行うブースと、直ちに採用に向けた面接まではできませんが、障がいのある方へ自社の説明を行っていただく企業のブースを設けて、後者の企業の皆様には、まずは障がいのある方の採用に向けたきっかけづくりをしようという工夫をしています。

障害者雇用促進法という法律に基づき、企業は一定割合の障がいがある方の雇用が義務（民間企業の場合は2.5%）となっています。ハローワークではこれが守られていない場合に企業に指導等を行う必要があります。しかし、単に法律のルールのみを周知し無理やり雇用を促して仮に障がいのある方がその企業に雇用されてとしても、その後定着しなかったり上手くいかないことが予想されます。このため、障がいのある方の雇用経験がない企業に対して、利用できる支援施策をしっかりと周知しつつ、どのように不安を取り除き納得感をもって採用いただくかは、ハローワークの担当官の腕の見せ所です。

ぜひ4月から来ていただく皆さんには、まずは仕事をおぼえつつですが（慣れてきたらで大丈夫です）各場面で持ち前の創意工夫を発揮してくださいね！



写真：障がい者面接会の様子（鳥取会場）
鳥取会場のほか、米子や倉吉でも、それぞれ障がい者就職面接会を開催しています。